

情報発信基地としての学校図書館

一昔前の学校図書館は、「学習室」という役割が大半でしたが、現在は生徒の創造力を培い、学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心をはぐくむ「読書センター」としての機能と、生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」としての機能を担っています。

四日市南高校図書館における図書館活動例を少しですが、ご紹介します。

① 1年ビブリオバトルの実施

1学年と連携し、夏休みの宿題及び現代文の授業でビブリオバトルを実施しています。一度読んだことのある本でも読み込み、発表（アウトプット）することで、思考力・判断力・読解力・プレゼンテーション能力・表現力等の育成を図ります。また本を紹介し合うことにより、クラスメイトのいつもと違った面を知り交友を広げる効果も期待できます。高校生ビブリオバトル北勢地域大会（三重県大会）への参加に向けた校内予選も兼ねています。



② 四日市南高校の資料収集は利用者の需要と供給が基本

自分の読みたい本が四日市南図書館になかった場合、購入もしくは他の学校図書館や公共図書館から借りてくるなどして、選定基準に外れない限り、利用者が読みたい本を提供しています。また図書委員が書店で本の内容を見て購入するという「見計らい」と、読書と図書館に関するアンケートを実施することにより、読みたいという隠れた要求を調査して選書に反映しています。良書を読まない…というご意見もありますが、まず勉学で多忙な日々でも、本を手にする時間を作ろうとする生徒の気持ちを優先しています。教職員の要望については教科、分掌等の希望図書を調査し、購入しています。また保護者の方々にも図書館だよりや学校ホームページで購入図書や図書館の活動をお伝

えすることにより、利用していただいています。

③ 小論文コーナー・学習参考書コーナーの設置

当校の生徒は、9割以上国公立大学進学を希望しています。その支援として、小論文の書き方からテーマ別の推薦図書、時事問題に関する資料を集めた小論文コーナーを設置しています。学習参考書コーナーでは、英語検定などの過去問題や教科別の参考書も置かれていますが、とりわけ勉強法の資料を多く取り揃えています。教員の指導以外に、自分で効率よく勉強する方法を模索している生徒に薦めています。

④ 学校行事に合わせたコーナーの展示

修学旅行の調べ学習やLHR、大学や学部選択、ビブリオバトルなど学校行事に合わせて企画・展示を行っています。今はNPO法人「四日市の街づくりを考える会(YTT)」との交流会に合わせて「自分たちのまちを知って考えよう 四日市のまちづくり」と題して、他府県のまちづくりの事例を集めた本や四日市に関する本を展示しています。

スマートフォンやSNSの影響でさらなる「読書離れ」や「活字離れ」が危惧されています。電子書籍もあります。しかし紙媒体の本や新聞の方が、情報を得る上で有効なこともあります。数多ある情報から、生徒が有効な情報を選別できる力を育成するべく、図書館を運営しています。